

株式会社FOOD & LIFE COMPANIES

東証プライムコード 3563

2026年度 第2四半期

決算説明資料

2026年5月8日



FOOD & LIFE
COMPANIES

FY26上期決算説明 AGENDA

(2025年10月1日～2026年3月31日)

- 総括業績予想 (P 1～P3) …… 代表取締役社長 CEO 山本 雅啓
- 連結業績報告 (P4～P12) …… 執行役員 吉田 剛
- 海外事業報告 (P13～P17) …… 副社長 執行役員 加藤 広慎
- 国内事業報告 (P18～P20) …… 専務 執行役員 新居 耕平
- 公表内容説明 (P21～P23) …… 代表取締役社長 CEO 山本 雅啓

FY26上期 決算総括

山本 雅啓

代表取締役社長 CEO



上期決算 Key Takeaways

- **上期決算は計画以上の強い実績で着地**
- **海外は中国事業が大幅伸長。出店も加速。東南アジア他事業も引き続き順調に伸長**
- **国内も顧客体験の進化により順調に伸長。商品品質向上、デジロー、IPコラボ等が貢献**
- **通期予想を上方修正。高い成長性と稼ぐ力の向上を両立し、次期中期計画に繋げる**

業績ハイライト FY26/上期（連結、累計）

2025年10月1日～
2026年3月31日（6ヵ月）

（単位：百万円）

	FY25/上期		FY26/上期		前期比	進捗率 ^{*2}
	実績	売上比	実績	売上比		
売上収益	203,814	—	254,182	—	24.7%	52.4%
EBITDA ^{*1}	27,126	13.3%	37,262	14.7%	37.4%	62.6%
営業利益	19,535	9.6%	28,080	11.0%	43.7%	69.3%
親会社の所有者に 帰属する中間利益	11,869	5.8%	17,788	7.0%	49.9%	74.1%
売上原価	86,068	42.2%	109,386	43.0%	0.8pt	—
店舗数	1,174	—	1,231	—	57	—

*1：EBITDAは、営業利益に減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却を除く）、減損損失を調整

*2：「進捗率」は、2025年11月7日に公表した FY26/9 予想比

FY26業績予想 上方修正の概要

期初計画から、売上収益を200億円、営業利益を80億円をそれぞれ上方修正

(単位: 百万円)

	FY26 上期実績	FY26 期初計画に 対する進捗率	FY26 期初計画	FY26 修正計画	修正計画の 期初計画比 (金額)	修正計画の 期初計画比 (増加率)
売上収益	254,182	52.4%	485,000	505,000	20,000	4.1%
調整後EBITDA	37,262	62.6%	59,500	67,500	8,000	13.4%
EBITDA率	14.7%		12.3%	13.4%		1.1pt
営業利益	28,080	69.3%	40,500	48,500	8,000	19.8%
営業利益率	11.0%		8.4%	9.6%		1.2pt
当期利益 ^{*1}	17,788	74.1%	24,000	30,000	6,000	25.0%
当期利益率	7.0%		4.9%	5.9%		
EPS	156.81円		211.91円	264.26円		
ROE ^{*2}	26.3%		22.7%	27.6%		
既存店売上昨対 (国内スロー) ^{*3}	109.0%		105.0%	106.0%		
出店数	57店		105~115店	110~120店		
原価率	43.0%		42.9%	43.0%		
従業員給付費用率	26.0%		27.0%	26.6%		
その他販管費率	20.0%		21.6%	20.8%		
その他収益・費用率 ^{*4}	0.0%		▲0.1%	0.0%		

*1: 当期利益=親会社の所有者に帰属する当期利益 *2: ROE=LTM(直近12ヵ月の実績)で算出 *3: 既存店売上昨対を除き、全て連結に係る数値・指標を記載 *4: その他収益・費用率: その他収益-その他費用を売上収益で除したもの

連結業績報告

吉田 剛

執行役員 財務經理担当



FOOD & LIFE
COMPANIES

業績ハイライト FY26/上期 (連結、累計)

2025年10月1日～
2026年3月31日 (6ヵ月)

(単位: 百万円)

	FY25/上期		FY26/上期		前期比	進捗率 ^{*2}
	実績	売上比	実績	売上比		
売上収益	203,814	—	254,182	—	24.7%	52.4%
EBITDA ^{*1}	27,126	13.3%	37,262	14.7%	37.4%	62.6%
営業利益	19,535	9.6%	28,080	11.0%	43.7%	69.3%
親会社の所有者に 帰属する中間利益	11,869	5.8%	17,788	7.0%	49.9%	74.1%
売上原価	86,068	42.2%	109,386	43.0%	0.8pt	—
店舗数	1,174	—	1,231	—	57	—

*1: EBITDAは、営業利益に減価償却費及び償却費(使用権資産の減価償却を除く)、減損損失を調整

*2: 「進捗率」は、2025年11月7日に公表した FY26/9 予想比

業績ハイライト FY26/Q2（連結、3ヵ月）

2026年1月1日～
2026年3月31日（3ヵ月）

（単位：百万円）

	FY25/Q2		FY26/Q2		前期比
	実績	売上比	実績	売上比	
売上収益	104,673	—	131,526	—	25.7%
EBITDA ^{*1}	14,128	13.5%	19,524	14.8%	38.2%
営業利益	9,955	9.5%	14,616	11.1%	46.8%
親会社の所有者に 帰属する中間利益	5,740	5.5%	9,243	7.0%	61.0%
売上原価	44,079	42.1%	56,853	43.2%	1.1pt

*1：EBITDAは、営業利益に減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却を除く）、減損損失を調整

セグメント別 業績ハイライト FY26/上期 (累計)

2025年10月1日～
2026年3月31日 (6ヵ月)

(単位: 百万円)

	国内スシロー事業			海外スシロー事業 ^{*2}			京樽事業			国内杉玉事業 ^{*4}		
	FY25 上期	FY26 上期	増減率 (増減数)	FY25 上期	FY26 上期	増減率 (増減数)	FY25 上期	FY26 上期	増減率 (増減数)	FY25 上期	FY26 上期	増減率 (増減数)
売上収益	129,097	144,539	12.0%	58,805	94,065	60.0%	12,029	11,192	▲7.0%	3,875	4,312	11.3%
EBITDA ^{*1}	18,358	20,709	12.8%	11,685	19,927	70.5%	555	888	59.9%	230	373	62.4%
営業利益 ^{*1}	15,048	16,627	10.5%	8,107	15,627	92.8%	407	729	79.0%	120	238	99.2%
減価償却費 及び償却費	8,673	9,551	10.1%	6,737	9,360	38.9%	859	827	▲3.7%	426	496	16.5%
減損損失	17	105	536.1%	488	108	▲77.8%	48	51	7.4%	15	9	▲37.9%
店舗数	650	661	11	207	279	72	224	189	▲35	93	102	9

*1: 本ページ以降の、セグメント別 EBITDAおよび営業利益は、全てロイヤリティ支払い前(ロイヤリティ支払いを抜いて算定した)数値を記載。
*3: 連結合計営業利益とセグメント別営業利益の合計の差額は、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用

*2: 「海外スシロー事業」には、香港の「杉玉」、および、米国の「酒林」店舗も含まれる。
*4: FY25/Q3より報告セグメントを「その他事業」から「国内杉玉事業」へ変更し、「国内杉玉事業」のみの数値を記載。

セグメント別 業績ハイライト FY26/Q2 (3ヵ月)

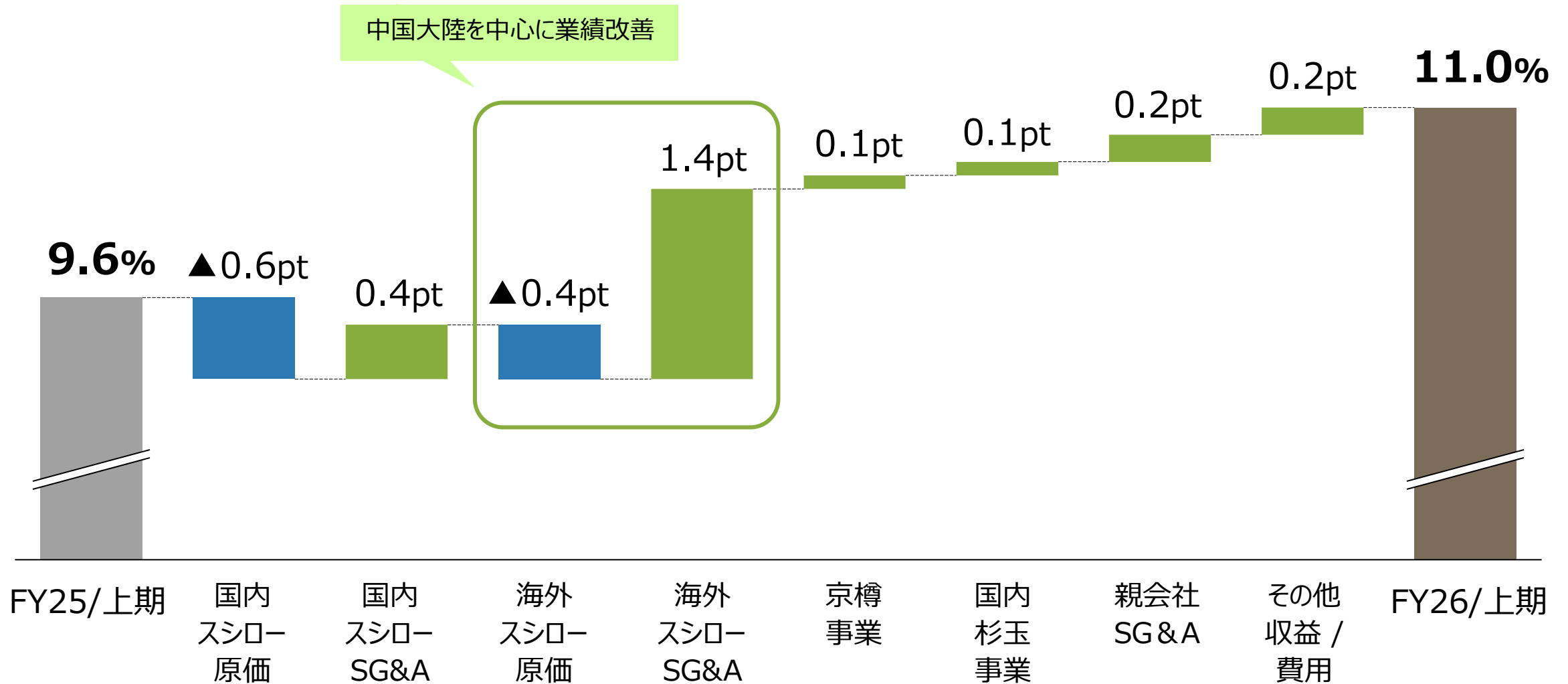
2026年1月1日～
2026年3月31日 (3ヵ月)
(単位: 百万円)

	国内スシロー事業			海外スシロー事業 ^{*2}			京樽事業			国内杉玉事業 ^{*4}		
	FY25 上期	FY26 上期	増減率 (増減数)	FY25 上期	FY26 上期	増減率 (増減数)	FY25 上期	FY26 上期	増減率 (増減数)	FY25 上期	FY26 上期	増減率 (増減数)
売上収益	65,873	72,860	10.6%	31,042	51,188	64.9%	5,877	5,394	▲8.2%	1,881	2,084	10.8%
EBITDA ^{*1}	9,501	10,155	6.9%	6,276	11,210	78.6%	252	442	75.7%	78	117	50.2%
営業利益 ^{*1}	7,803	8,013	2.7%	4,186	8,886	112.3%	151	336	122.5%	14	41	183.5%
減価償却費 及び償却費	4,392	4,843	10.3%	3,463	4,875	40.8%	435	411	▲5.5%	219	252	15.0%
減損損失	17	105	536.1%	488	108	▲77.8%	48	51	7.4%	15	9	▲37.9%

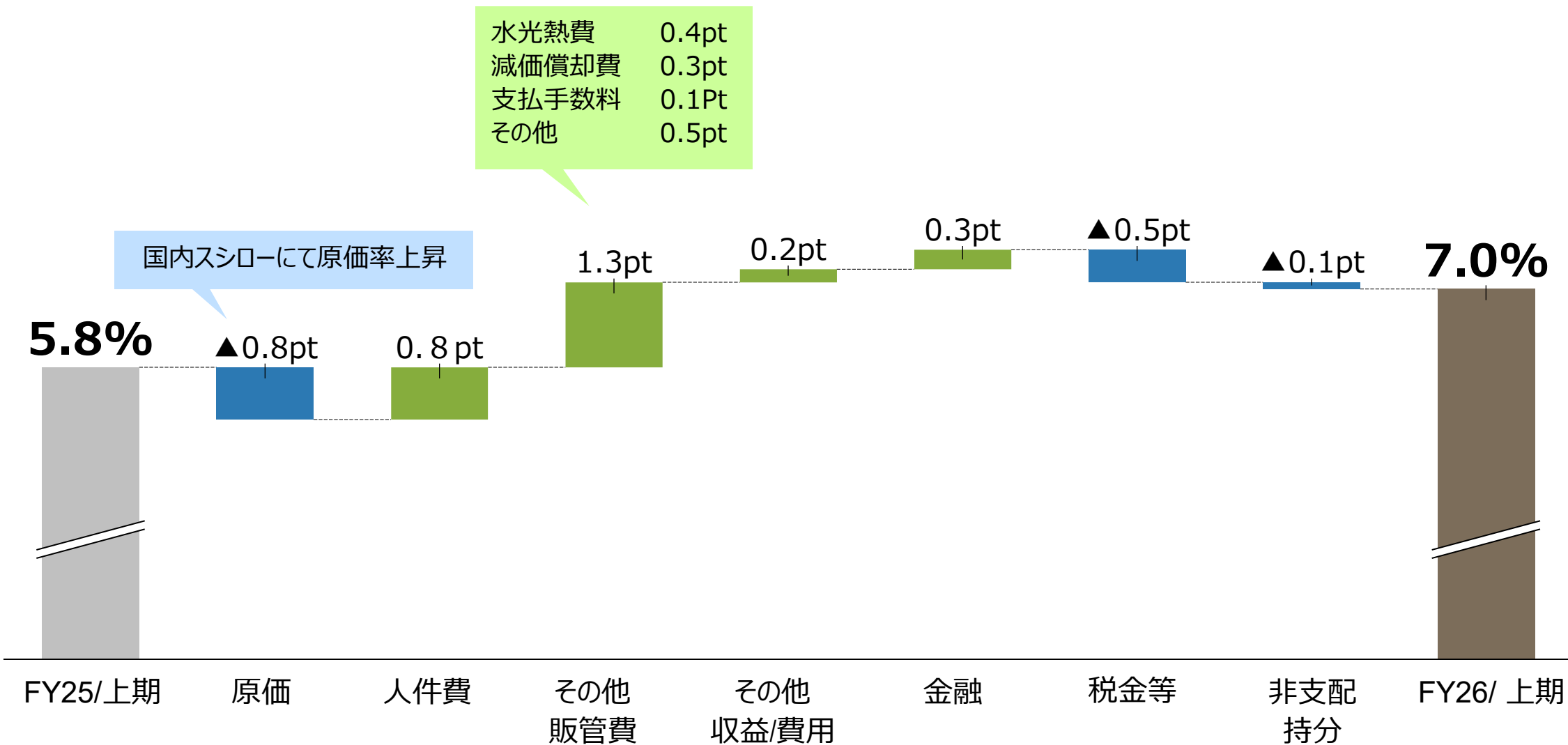
*1: 本ページ以降の、セグメント別 EBITDAおよび営業利益は、全てロイヤリティ支払い前(ロイヤリティ支払いを抜いて算定した)数値を記載。
*3: 連結合計営業利益とセグメント別営業利益の合計の差額は、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用

*2: 「海外スシロー事業」には、香港の「杉玉」、および、米国の「酒林」店舗も含まれる。
*4: FY25/Q3より報告セグメントを「その他事業」から「国内杉玉事業」へ変更し、「国内杉玉事業」のみの数値を記載。

営業利益 変化要因分析 FY26/上期 (累計)



中間利益*1 変化要因分析 FY26/上期 (累計)



*1: 親会社の所有者に帰属する中間利益

財務状況 BS・CF (連結)

連結財政状態計算書

(単位：百万円)	FY25/9	FY26/上期	増減
流動資産	88,396	102,577	14,181
[現預金]	[58,822]	[62,400]	[3,578]
非流動資産	310,200	327,127	16,927
[のれん]	[30,371]	[30,371]	[-]
資産	398,596	429,704	31,109
流動負債	84,857	93,328	8,472
[社債及び借入金]	[4,009]	[4,009]	[-]
非流動負債	212,837	217,482	4,644
[社債及び借入金]	[76,519]	[74,526]	[▲1,993]
負債	297,694	310,810	13,116
資本	100,902	118,895	17,993
負債資本	398,596	429,704	31,109
自己資本比率	24.0%	26.3%	+2.3pt
Net Debt/EBITDA	0.4x	0.2x	▲0.2x
株価純資産倍率	9.1x	9.3x	+0.2x

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	FY25/上期	FY26/上期	増減
営業CF	26,219	40,553	14,334
投資CF	▲ 11,632	▲ 20,753	▲ 9,121
財務CF	▲ 16,135	▲ 17,709	▲ 1,574
キャッシュ増減	▲ 1,359	3,578	4,937

<主なポイント>

■連結BS

資 産：有形固定資産2,194億円（前期末差+156億円）
 負 債：リース負債1,470億円（前期末差+88億円）
 資 本：中間利益178億円、配当支払40億円

■連結CF

営業CF：税引前中間利益89億増加等
 投資CF：国内外出店及びデジロー投資継続（海外投資比率56%）
 財務CF：リース債務 返済支出12億円増加、配当金の支払額6億増加

■経営指標

中間利益計上により、自己資本比率等改善進む

FY26業績予想 上方修正の概要

期初計画から、売上収益を200億円、営業利益を80億円をそれぞれ上方修正

(単位: 百万円)

	FY26 上期実績	FY26 期初計画に 対する進捗率	FY26 期初計画	FY26 修正計画	修正計画の 期初計画比 (金額)	修正計画の 期初計画比 (増加率)
売上収益	254,182	52.4%	485,000	505,000	20,000	4.1%
調整後EBITDA	37,262	62.6%	59,500	67,500	8,000	13.4%
EBITDA率	14.7%		12.3%	13.4%		1.1pt
営業利益	28,080	69.3%	40,500	48,500	8,000	19.8%
営業利益率	11.0%		8.4%	9.6%		1.2pt
当期利益 ^{*1}	17,788	74.1%	24,000	30,000	6,000	25.0%
当期利益率	7.0%		4.9%	5.9%		
EPS	156.81円		211.91円	264.26円		
ROE ^{*2}	26.3%		22.7%	27.6%		
既存店売上昨対 (国内スロー) ^{*3}	109.0%		105.0%	106.0%		
出店数	57店		105~115店	110~120店		
原価率	43.0%		42.9%	43.0%		
従業員給付費用率	26.0%		27.0%	26.6%		
その他販管費率	20.0%		21.6%	20.8%		
その他収益・費用率 ^{*4}	0.0%		▲0.1%	0.0%		

*1: 当期利益=親会社の所有者に帰属する当期利益 *2: ROE=LTM(直近12ヵ月の実績)で算出 *3: 既存店売上昨対を除き、全て連結に係る数値・指標を記載 *4: その他収益・費用率: その他収益-その他費用を売上収益で除したもの

店舗数 国内・海外

			FY25 期末 (2025年9月末)	FY26/上期 (2026年3月末)		
			店舗数	増加	減少	店舗数
外食	スシロー	国内	659	3	1	661
		海外	227	46	1	272
	杉玉 (酒林含む)	国内	95	7	0	102
		海外	7	0	0	7
	回転寿司みさき／三崎丸	国内	87	0	2	85
テイクアウト	スシロー	国内	8	0	1	7
	京樽 (マルチブランド含む)	国内	100	1	15	86
国内その他ブランド			15	0	4	11
合計			1,198	57	24	1,231

海外事業

加藤 広慎

副社長 執行役員



FOOD & LIFE
COMPANIES

海外事業：FY26 上期業績 および FY26 業績予想

重点 取り組み

- ・ 過去最大となる出店ペースを実現し、更なる成長を目指す
- ・ 品質の安定化/日本同等の販促、マーケティング活動、人材育成を強化し、持続的な成長を支える強固な体制を構築

事業 指標

(単位：億円)

	実績			通期 業績予想		
	FY25 上期	FY26 上期	増減率	前回予想 ^{*1}	修正予想	増減率 ^{*2}
売上収益	588	941	60.0%	1,700	1,850	8.8%
EBITDA	116	199	70.5%	349	395	13.2%
営業利益	81	156	92.8%	242	300	24.0%
店舗数	207	279	72	300~320	300~320	—

*1：前回(2025年11月7日)発表のFY26/9業績予想

*2：今回(2026年5月8日)発表の修正予想の前回予想に対する増減率

海外事業：[上期] 中国大陸の成長がけん引、東南アジアは堅調に推移

事業環境・成果

アジア

中華圏^{*1}

- **台湾**では、上期56店舗に到達。初のデジロー店舗が好調で既存店へも導入し、着実に集客力が上昇した。
- **香港**では、IP施策と独自メニュー戦略を軸に、大陸からの訪港客を獲得し、過去最高売上を更新。
- **中国大陸**では、12月にオープンした上海が人気を博し、近隣の済南・無錫・寧波へも好影響が波及。広州・深圳や成都においても話題性ととも集客力が上昇し、中国大陸で業績が力強く伸長した。

東アジア・ 東南アジア^{*1}

- **韓国**では、経済全体の減速が続く環境下においても、商品の拡充や接客の強化が奏功し、前年同期を上回る売上水準で推移。
- **タイ**では、上期はプーケット初出店を含む7店舗を出店。総店舗数は45店舗に到達し、出店攻勢を継続。
- **シンガポール**では、1月オープンのSquare2の店舗が過去最高売上を更新。総店舗数は16店を達成。
- **インドネシア**では、商品MIXやマーケティング施策によりハラル市場での認知が向上し、業績は着実に成長。
- **マレーシア**では、1号店がオープン1周年を迎え「創業祭」を実施。下期に向けて、2、3号店の出店を準備中。

北米

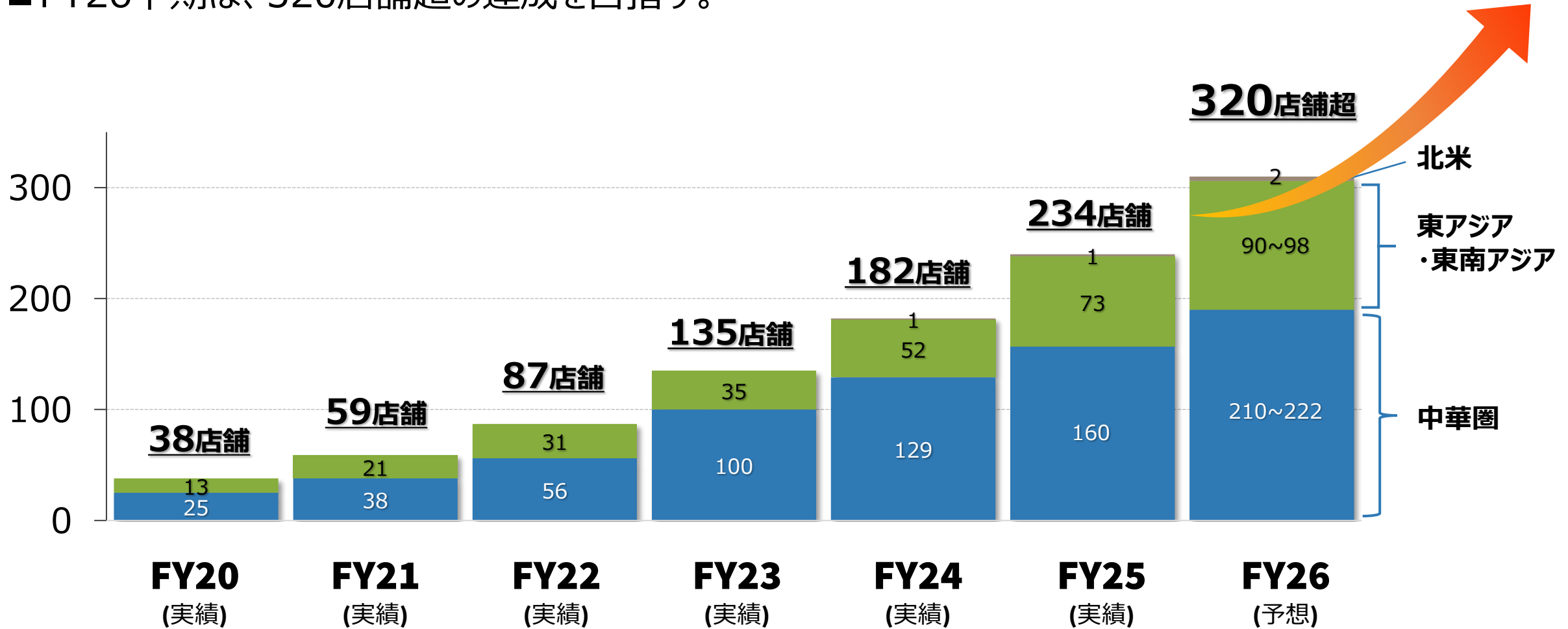
米国

- **米国・ボストン**の寿司居酒屋「酒林」では、店舗リニューアルによる空間・機能の刷新に加え、継続的な取り組みを通じてブランド認知が着実に定着し、来客数が増加。上期は計画比で大幅な上振れとなった。

*1: 「中華圏」 = 中国大陸、香港、台湾 「東アジア・東南アジア」 = 韓国、シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア

海外事業：店舗数推移

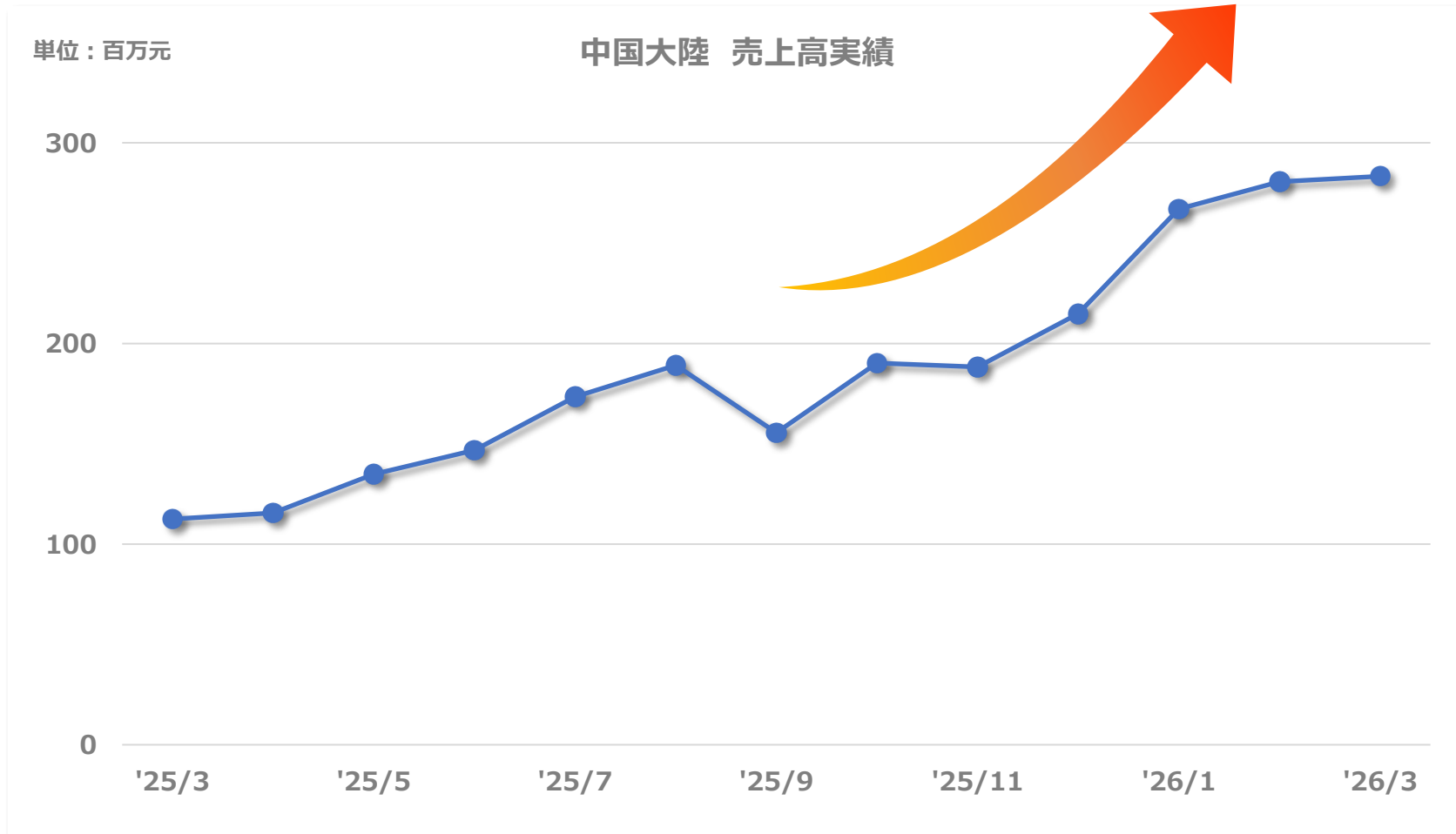
- FY26上期は、計画通りの出店ペースを実現し、海外総店舗数279店舗を達成。
- FY26下期は、320店舗超の達成を目指す。



海外事業 [上期] 中国大陸の業績は好調、戦略的な店舗網拡大も計画通りに進捗



- 上海を起点に周辺都市へ連続出店し、好評いただいている。その反響はSNSを通じて北京・広州・成都へと波及し、中国大陸で集客力が加速度的に高まっている。



TOPICS

- '25/12に中国・上海にスシロー2店舗を同時オープン。



今後の取り組み

アジア

中華圏

- 今後本格化する出店攻勢を見据え、人材の確保・育成およびサプライチェーン強化に注力する。
- 教育を未来に向けての先行投資と位置づけ、出店攻勢下でも高品質を維持できる人材体制を確立する。

東アジア・
東南アジア

- デジロー店舗の導入によりブランドプレゼンスを一段と高めつつ、引き続き出店拡大を推進。
- 収益モデルを抜本的に刷新し、生産効率の最大化と収益性の向上に注力する。

北米

米国

- ボストンにおける、寿司居酒屋「酒林」のブランド認知向上を推進。
- New Yorkにスシロー1号店の出店を計画。

国内事業（スシロー）

新居 耕平

専務 執行役員



FOOD & LIFE
COMPANIES

国内スシロー事業：FY26 上期業績 および FY26 業績予想

重点
取り組み

顧客体験の進化：商品品質向上、デジローなど既存店設備の投資を強化

事業
指標

(単位：億円)

	実績			通期 業績予想		
	FY25 上期	FY26 上期	増減率	前回予想 ^{*1}	修正予想	増減率 ^{*2}
売上収益	1,291	1,445	12.0%	2,850	2,890	1.4%
EBITDA	184	207	12.8%	365	375	2.7%
営業利益	150	166	10.5%	281	290	3.2%
店舗数	650	661	11	670~675	670~675	—

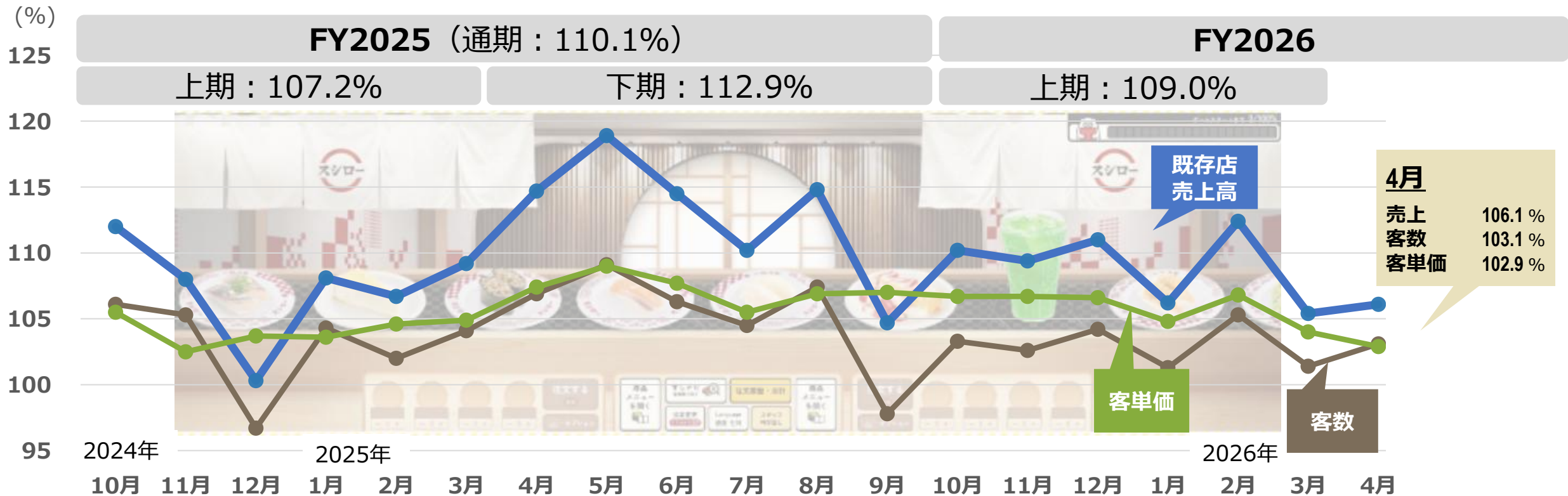
*1：前回(2025年11月7日)発表のFY26/9業績予想

*2：今回(2026年5月8日)発表の修正予想の前回予想に対する増減率

国内スシロー：既存店売上高のトレンド



- ✓ 既存店売上高成長率は、上期計画107%に対して、109%で着地
- ✓ 改装は、計画通りに進捗。デジローがお客様の体験価値向上に寄与
- ✓ 商品力に磨きをかけて再現性を追求。キャンペーンとコラボが押し上げ



国内スシロー：キャンペーン・IPコラボ

2025年10月



鮪の王様
本鮪 中とろ
税込120円〜



IPコラボ

「可哀想に！（おばんちゅうさぎ、んぼちゃむ）」

11月



かに初め



「さくらみこ」

12月



天然びんとろ
1皿税込100円〜

「プロジェクトセカイ カラフルステージ！ feat. 初音ミク」



冬のうまいもん祭

2026年1月



IPコラボ

「チエゴシム」

2月



天下の魚市場 豊洲×スシロー



「ジョジョの奇妙な冒険 スターダストクルセイダース」

3月



北海道うまいもん祭



「パペットスンスン」

まとめ

山本 雅啓

代表取締役社長 CEO



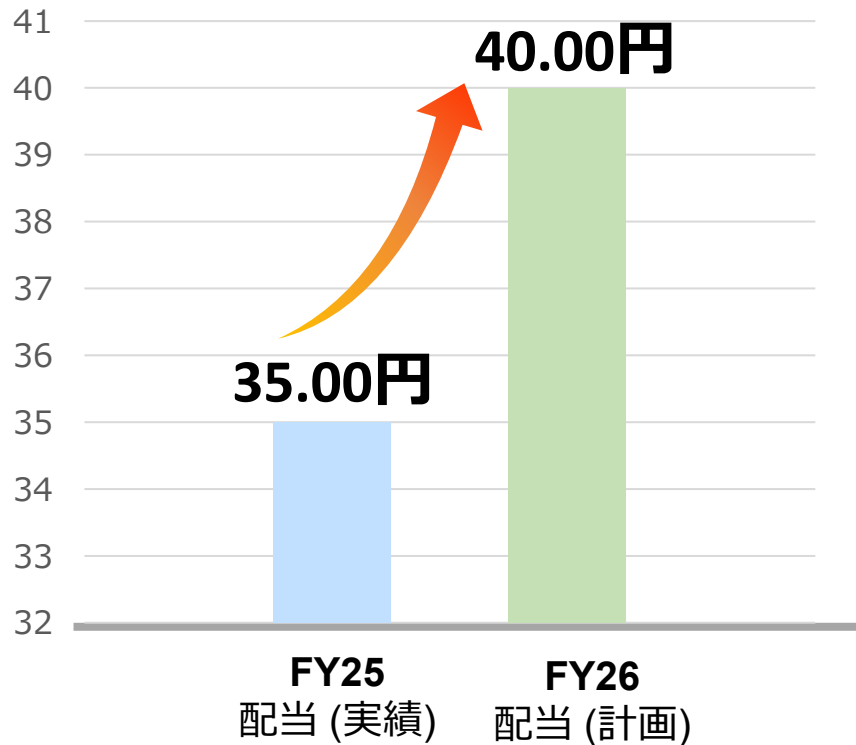
FOOD & LIFE
COMPANIES

増配及び株式分割

<FY26配当予想の上方修正>

FY26の期末配当は、普通配当を1株当たり5円増配して35.00円から40.00円とする計画といたします。

※配当金額は株式分割前、分割後は1株あたり20.00円



<株式分割>

2026年6月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

基準日 公告日	2026年6月12日 (金)
基準日	2026年6月30日 (火)
効力発生日	2026年7月1日 (水)

<株主優待制度>

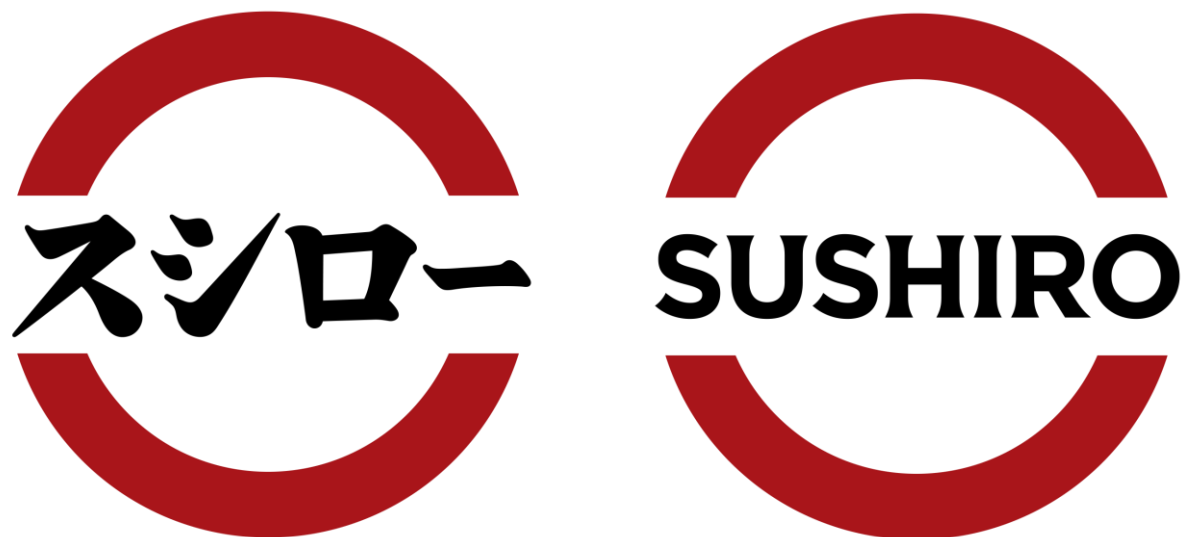
2026年9月30日を基準日として、株主名簿に記載または記録された株主さまに対する株主優待より、株式分割後の株式数を対象に、変更後の基準を適用いたします。

詳細は、2026年5月8日公表の

「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更ならびに株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

「スシロー」のブランドロゴを改定

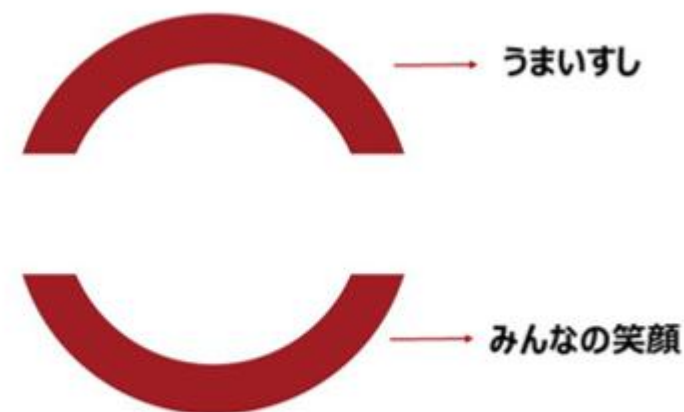
3月25日、主カブランド「スシロー」のカタカナ表記によるブランドロゴを改定するとともに、新たにアルファベット表記のロゴマークを策定。世界中のお客さまに共通して認識され、より深く記憶に残るブランドを目指す。



<ロゴに込めた想い>

「うまいすしで、世界中のお客さまを笑顔にしたい」
という想いを込め、
上下の赤いラインをダブルアーチとして再定義

<ダブルアーチ>



うまいすしで、世界中のお客さまを笑顔にしたい

まとめ

<FY26 業績予想>

上期の実績が計画に対して上振れた分を上方修正、下期は期初計画を据置き

<FY26 下期方針>

下期も、お客様の体験価値と本質的な優位性に磨きをかけながら、果敢に挑戦

<11月 中計発表>

FY26 通期決算発表時に、新中期経営計画（FY27-29）を公表・説明予定



FOOD & LIFE
COMPANIES

本件に関する注意事項

本資料は、株式会社FOOD & LIFE COMPANIES（以下「当社」）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、日本、米国その他の法域における当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

当社は、本資料に含まれる情報または意見の公平性、正確性、完全性または正当性について、明示的または黙示的に表明または保証をするものではありませんので、これらに依拠することのないようお願いします。本資料の使用または内容等に関して生じたいかなる損害について、当社は一切の責任を負いません。また、本資料の内容は事前の通知なく大幅に変更されることがあります。

本資料は、本資料の作成時点における業界、市場動向または経済情勢等に基づき作成されたものであり、その後発生する事象に基づき影響を受ける可能性があります。当社は、それらの情報を最新のものに更新するという義務を有していません。

本資料には、当社の現在の見通し、予想、目標、計画などを含む将来に関する見通しが含まれています。このような将来に関する見通しは、経営陣による将来の業績の保証を表すものではありません。これらの見通しは、将来の予想を議論し、戦略を特定し、経営成績または当社の財務状態の予測を含み、または当社の事業および業界、将来の事業戦略ならびに将来において当社が営業を行う環境に関する当社の現在における予想、想定、見積もりおよび予測に基づくその他の将来に関する情報を記載するものです。既知および未知のリスク、不確実性およびその他の要因により、当社の実際の業績は、将来に関する見通しに記載されまたは示唆されるものとは大幅に異なる可能性があります。当社は、これらの将来に関する見通しに記載される予想が正確なものであることを保証することはできません。実際の業績は予想とは大幅に異なる可能性があります。